

## 平成 29 年度町政懇談会記録(要旨)

開催日 : 平成 29 年 9 月 22 日 (金)

開会 : 午後 7 時 00 分 閉会 : 午後 8 時 01 分

場所 : 笹尾西 1 丁目集会所

参加者 : 男 12 人、女 15 人 計 27 人

町職員 : 町長、副町長、建設部参事、上下水道課長、町民課員、政策課員

### ○懇談

男性 1            今の水道の話ですが、いなべ市、桑名市はどこから水をとっているのですか。

上下水道課長    いなべ市については、東員町と同じく井戸水になります。若干奥にいくと、山からの伏流水を浄化している部分もありますが、基本は地下水になります。

                  桑名市は長良川とか揖斐川から県が企業庁としてくみ上げて処理したものを買って提供しています。木曾岬町はそれが 100%です。

男性 1            買うのと井戸を汲み上げるのとどちらが安いのか。

上下水道課長    井戸の方が安いです。県はそれを汲み上げて浄水場で処理をして消毒をしてポンプで送ります。今の町の料金から言うと、町が 100%県水に買えたら、3 倍か 4 倍にしないと無理です。

町長              志摩市が 100%県の水道を利用しています。

男性 1            井戸だから単価が安いんですね。

上下水道課長    地下水ですので原価はただですが、それを汲み上げて送る費用と消毒する費用、そしてもう 1 度送る費用が固定的には必要になります。冒頭にお話させていただいたとおり、その地下水をまず守らないと、これが汚染されたら県水を買わざるを得ないことになります。

男性 1            地下水は水質的には問題はないと思いますが、これを売れるかどうか。品質としてどうかを調べたことはありますか。よく名水とかあるじゃないですか。他の水と比べて、品質はどうかということ調べたことはありますか。それで東員町の水が美味しいということになれば売れるんじゃないですか。

町長           できないことはないと思いますが、藤原の人でやった人がいるのですが、結局赤字でやめました。なかなか売れないらしいです。結局、最後はただで配っていました。採算が合わないといわれていました。

上下水道課長    近隣でも、桑名市・四日市・名古屋市・川越町など色々なものを作っています。作ってどうしているかという、災害の備蓄用や広報用に配布しています。採算を併せて儲けるというところまではいいないです。

町長           それに近いことをやっています、ジンジャーエールなんです。猪名部神社エールを観光振興会が300円で売っています。ちょっと高いですが、祈祷してあります。あの水は員弁川の水なんです。員弁川の水を浄化して作って売っています。

男性1           それはどうして員弁川の水なんですか。

町長           猪名部ジンジャーエールだからでしょうか。水は員弁川そのものではなくて、伏流水ですが、水質は悪くないです。皆さんに飲んでいただいている水は浄化に必要な処理は最小限なんです、それでも十分な水質になっています。東員町の水は美味しいはずなんです。塩素が非常に少ないのです。

男性1           いつも飲んでいて美味しいからそんな話をしただけですけど、今の話を聞くとなかなか難しいということですが、他の水と比べたときに他と違ういいところをみつけて、売らないと普通じゃ勝負にならないですね。水にこだわる必要はなく、農業でもやればいいんですけどね。

男性2           ちょっと話題を変えますが、新産業創造プロジェクト門脇さんから抱負をいただけないでしょうか。

建設部参事       これから東員町が将来に向かって持続的に発展するには余った土地が農地しかないものですから、この農地で少しでも儲けるような仕組みを作らないと、農業もだんだんと衰退していく現状があります。今現在されている農業が水田利用型の農業で、米を作る、麦を作る、大豆を作るというもので、収益性が薄いです。ですから、大規模でやらないと農業では食べていけない状況になっています。このような状況の中でやはり、農家の後継ぎがいなくなっています。毎年のように農業者が減っています。その中で国の施策でもありますが、土地基盤整備をして区画を大きくすることと、もう1つは機械化ということで大規模農業者だけが残っています。この状況でも、儲けの薄い農業を続けていけば跡継ぎがでてこない、このまま放っておけば、近い将来東員町の農業は衰退しますし、農地も荒れる状況になってきます。この状況に歯止めをかけること、そして、東員町の将来を見たときに重要な課題であり、農業にかけて

みる時が今来ているという気がしています。その中で少しずつですが、町が3年前からブドウとブルーベリーを作り始めました。その成果も出てきたこともあわせて、水田利用型の農業だけではなくて、施設的なものも建てながら農業で儲かる町というものを作っていきたいということで、これから頑張っていきたいと思いますのでご協力をよろしくお願ひしたいと思います。

男性 3           私自身も畑を借りていますが、1つの農産物を作る難しさもわかっています。農家さんの高齢化は目立っています。私の借りている畑の近くの人もそうで、維持することが難しくなっています。農地を使ってもらう人が誰かいないかとお話されていることを聞いたこともあります。団地には、やってみたいと思っている人もいます。特に高齢化が進み、手が空いてくる人もいますし、自分で作った野菜を食べたいという人もいますかと思ひます。東員駅の北側のふれあい農園も非常ににぎわっているかと思ひますが、在来の人々の畑で空いているところを、農政が集約しながら、やりたいという人にお貸しするというような、つながりを持つといいかなと思ひます。

建設部参事       確かに、今まで農業をしていた人がもうできないとなって、農地が荒れているところもあります。今、県に農地中間管理機構というものがありますので、そちらへつないで誰かを紹介してもらう形をとっています。ただ一つ問題なのが、農地法というもので、農業者でなければ農地を持たない、貸し借りできないという決まりがありますので、ふれあい農園といった形で、そういった方に少しの農地をやっていただいている状況でございます。ただ、ふれあい農園もここ最近は需要と供給のバランスがあっいて、なかなか拡大するには踏み切れない状況でございます。今後、需要の意見が多くでてきて足りなくなる状況になれば、農地の所有者と話し合いをして、ふれあい農園化というのも考えたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

男性 4           多度東員線ですが、あの県道の幅が狭く、ひやりとすることが沢山あります。大型ダンプが通りますので危ないと思ひことがあるんです。なんとか県のほうに要望して、道を広げるとか、どこかにバイパスを作ってもらうとか、何とか危なくないようにしていただけないでしょうか。

町長           くわしんからネオポリスの方へ行く道のことですね。この道については、随分前から県に話をしています。実はあの県道のなかで、鳥取の一部に未登記の道があっいて、もう解決はしたのですが、県道なので、本来は県が買い上げなければいけないのですが、県にお金がないということで、県に一筆入れて町が立て替えています。一筆とは、あの県道をきちんと整備するときに、お金を返してもらおうというものです。それからいくと、早いこと整備してほしいです。お金が返ってこないのです。そういったこともありまして、我々も頭を痛めている道路です。笹尾地区の方だけではなく、鳥取地区の方からも随分声をいただいています。鳥取地区には県議会議員さんもみえるので、一緒になって解決に向けてお願ひしますという話もしながら、県にも話をしています

が、県もお金がないといってなかなか難しい状況になっています。できるだけ、県には何度も要望していきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

男性 5            農業の件ですが、700ha を 1 品種に限って大量に生産するという事は考えていませんか。外国から安いものが入ってきてはたちうちできません。例えば小麦なら小麦として 700ha 全てを小麦にする。日本は小麦やとうもろこしは 90%以上輸入に頼っていますから、圧倒的に足りないわけです。700ha で作った小麦をどこかの製粉会社にまとめて買ってもらうとか。大豆も同じです。96%輸入だと聞いていますから、これが入ってこなければ、みそ汁も飲めません。1 つに絞って大々的にやるという方法もあるんじゃないでしょうか。東員町が成功すれば、いなべ市や四日市市を巻き込んでするのもいいじゃないでしょうか。

建設部参事        小麦、大豆について、おっしゃるとおりほとんど輸入です。今、小麦大豆を作っている理由が減反施策からになります。そればかり作ったらいいという話ですが、日本で、小麦、大豆を作っても生産性があわない、輸入した方が安く、日本で作った小麦大豆は高く売れないという現状になっています。今、何か 1 つにしたらいいという話でしたが、今、考えているのは大豆をのばそうと考えています。大豆で特殊な技術を持つ会社がありまして、大豆を使って豆乳、豆腐、あげと色々な製品ができますが、おからがでない豆腐を作る技術を持つ企業と協議をしまして、それが整えば、東員町の大豆で色々な製品ができるということを、今、協議をしているところでございます。

町長                大豆の製品もこの会社と一緒に東員町で作って、大豆そのものと、おからがでない豆腐、すごく栄養価が高いのですが、こういったものを東員町の特産品として売っていきたいと考えています。そのために大豆を沢山作っていかうと思っています。

男性 6            自治会長からも要望が出ていると思いますが、笹尾西 1 丁目として消火栓の点検を自治会でやっていますが、場所によっては泥が一杯詰まっていて、差込口もわからないところもあります。そういうところをもう少し見てもらうわけにはいかないのかなと思っています。特にバスがよく走るところは消火栓のマンホールの蓋すら開けにくいところとかもあります。開けてみたら泥がいっぱいとか、ところどころ水没しているとか、キャップがしまらないとか、鎖が切れてしまっているところもあります。消火器具もかなり老朽化しています。一番怖いのがホースと筒先が切れているものもありました。水圧がかかると抜けてしまわないかという心配がありますので、よろしくをお願いします。

町長                23 自治会ありますので、定期的に点検するよう話をしたいと思っています。